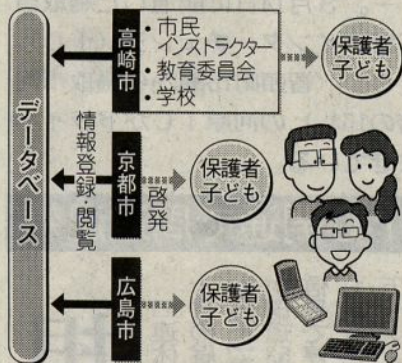


# 高崎 京都 広島 3市

第4, 3

## 3市が連携する有害サイトのデータベース



学校裏サイトや自己紹介サイト「プロフ」の書き込みをめぐり中高生がトラブルに巻き込まれるケースが急増する中、群馬県高崎、京都、広島の三市の教育委員会と保護者は五月から、誹謗中傷の書き込みなど問題のあるサイトを探し出し共通のデータベースに登録する事業を開始する。

# 有害サイト探しで連携

## 共通データベースに登録

特定非営利活動法人（NPO法人）「青少年メディア研究協会」（前橋市によると、複数の自治体が連携し情報共有を図る取り組みは全国初。科学技術振興機構（東京）の研究開発プロジェクトとして同協会がシステムを開発、青少年とネットの問題に熱心に取り組む三市教委に参加を呼び掛けた。データベースは中高生や保護者への啓発活動に活用する。

三市のネット問題に関心のある「市民インストラクター」や保護

者、教育関係者ら計約百人が調査員としてモニタリング。調査員は、問題のあるサイトを見つけたらサイト名やURLをはじめ、わいせつ情報の有無や誹謗中傷の種類などを登録、サイトへたどり着いた検索方法も書き込む。

問題サイトをめぐっては、背景と文字の色が同じで一見すると文字が読めないがカーソルを当てて反転させれば文字が浮かび上がるニタリク。調査員は、サイトが登場するなど近年、発見が難しくなっている。

同協会の下田博次理事長は「最終的には具体的データを積み上げ、ネット業者に対して『もっかるからといって子どもにこんな遊びをさせてはだめだ』と強く警告しなければいけない」と話している。

「ミクシィ」や「モバゲータウン」などネットや携帯電話のサイトに出会い系サイトのような書き込みがあるとして、警視庁が運営会社六社に削除を要請していたことが二日、警視庁への取材で分かった。

## 後絶たぬ「プロフ」トラブル

自己紹介サイト「プロフィール」をめぐる中高生のトラブルは後を絶たず、さいたま市の中学校では、同級生のプロフィールに「キモイ」などの書き込みを受け、女子生徒が昨年十月に自殺したとされる。文科科学省の調査によると、高校二年生の約44%が自分のプロフィールを公開した経験を持つ。二〇〇七

年度のネットいじめ認知件数は五千八百九十九件で、〇六年度より千六百件増加した。いじめだけでなく、子どもを被害者とする事件でもプロフは利用されている。警察庁のまとめによると、〇八年にプロフなど一般サイトで犯罪に巻き込まれた青少年は七百九十二人で、出会い系サイ

ルを当てて反転させれば文字が浮かび上がるニタリク。調査員は、サイトが登場するなど近年、発見が難しくなっている。

「ミクシィ」や「モバゲータウン」などネットや携帯電話のサイトに出会い系サイトのような書き込みがあるとして、警視庁が運営会社六社に削除を要請していたことが二日、警視庁への取材で分かった。

同課は二月から三月にかけて運営会社に対して①コミュニティの管理者に出会い系サイトとして申請させる②コミュニティ自体を削除するのいずれかを選択するよう要請した。ミクシィは管理人に警告した上で削除したという。

ミクシィは三月末までに約三百のコミュニティ（サイト内のグループ）を削除し、ほかの会社も削除予定という。

警視庁少年育成課によると、昨年十二月の出会い系サイト規制法改正でサイト運営業者に都道府県公安委員会への届け出が義務付けられた。これを受けて同課が無届け業者を探したところ、ミクシィのサイト内などに出会い系サイトと同様の活動をしているコミュニティを見つけた。